

2-1-1 教員の学位や業績

【経済経営学部】

国際・教養教育センター	名前(読み)	大平 真紀子 (おおひら まきこ)
	職 名	講師
	取得学位	修士(文学)
	専門分野 研究領域	日本語学, 日本語教育
	担当授業	総合日本語Ⅰ, 総合日本語Ⅱ, 文章作成, 資格検定対策 キャリアデザイン(留学生), キャリアサポート(留学生) 他
	研究業績	<ol style="list-style-type: none"> 「外国人との交流活動が日本人に及ぼす効果を検証する挑戦的研究」日本学術振興会科学研究費助成事業 挑戦的研究(萌芽), 2019年6月-2023年3月, 関崎博記・長野真澄・田村綾子・大平真紀子・市島典子 「BJTビジネス日本語能力テストの特徴と認知度」『環太平洋大学研究紀要』18号, 2021(単著) 「日本語が母語でない日本語教育実習生の模擬授業の評価の観点」『日本語教育方法研究会誌』28号1, 2021(共著) 「外国人留学生保護者の大学教育と留学生支援に対する期待と満足—ベトナムでの保護者会を通して—」『環太平洋大学研究紀要』14号, 2019(共著) 「環太平洋大学の外国人留学生の就職動向と就職支援の取り組み」『環太平洋大学研究紀要』13号, 2018(共著) 「外国人留学生に対するディスカッション活動を取り入れた時事教養の実践」『環太平洋大学研究紀要』12号, 2018(単著) 「デノ格の名詞と名詞とのくみあわせ—連語論的観点から—」『岡山大学大学院社会文化科学研究科紀要』42号, 2016(単著) ヘノ格の名詞と名詞とのくみあわせ—かざられが動作・状態性の名詞の場合—」『岡山大学大学院社会文化科学研究科紀要』32号, 2011(単著) 「「N1におけるN2」についての連語論的観点からの一考察—デノ格の連語との比較を通して—」2016年度第8回日本語教育学会研究集会, 2016(口頭発表) 「N1でのN2についての—考察—連語論的観点より—」2014年度第9回日本語教育学会研究集会, 2014(口頭発表) 「地域と留学生をつなぐ活動—参加者すべてをWINにする—」日本語教育学会2018年度第1回支部集会【九州・沖縄支部集会】, 2018(交流ひろば) 他
	所属学会 学会活動	日本語学会, 日本語教育学会, 日本語教育方法研究会
社会貢献	岡山市多文化共生のまちづくりセミナー「やさしい日本語講座」講師 岡山市及び赤磐市の小学校における国際交流会の企画・運営 岡山市及び赤磐市の各種イベントにおける外国文化紹介の企画・運営 外国人による日本語スピーチコンテスト主催(2017年~2019年) (2017年 公益財団法人福武教育文化振興財団教育活動助成に採択) 岡山市多文化共生社会推進ネットワーク会議 委員	